

# 正月合宿



神楽峰

川口敏博

12月31日

メンバー: 杉本、伊藤、遠山、郡司、川口、安達、田中、鈴木、竹田、柳沢、重田、坂井、伊藤、針谷

例のごとく越後湯沢で仮眠をとり、蔵王からかけつけた遠山さんと合流し、6:10のバスでみつまへ整理券をもらい、いよいよ出発。ロープウェイとリフト5本を乗り継ぎ、かじろ才3リフトの終点からちつと入ったところにバスを降す。夜行疲れでちつと寝いかに足馴しに全員で神楽峰へ約1時間で登着。

苗場山はガスで見えない。登って来たコースと沢沿いのルートに別れて滑降。沢沿いはかりかりで数回の顔面制動ののち和田小屋へ滑り込む。缶ビールを買って我が家へ豪華な夕食のあとダンロップの宴会場にてババ抜き大会。男の絵のババなので田中さんはなかなか離したくないようだ。



1月1日

初日の出はむりだが天気はまあまあ。梅原さんの尻でつぶれたたて巻付のそうにも食べて出発。きょうは全員で沢沿いのルートも滑り、和田小屋へ時間があまったのでリフトで林間コースを滑り3:30に我が家へ。おきた豪華に片どんの夕食。食後は

恒例の大宴会。ワイン、ウイスキー、フランクフルト、ビール。日本酒、梅酒、チャム、芸者(?)付きのホーカー大会。負けた人は歌を、なかなかマイクを離さない人もいて寝るのがおいしかった。明日は苗場山アタックなので、心を鬼にしてジュラフにもどり込む。山スキー同志会改め、ウイスキー同志会、アフタースキー同志会の方がピッチリくつ夜だった。

1月2日

## 苗場山隊 梅原(L)他10名

すばらしい初日の出を拝み宴会気分をさりとすて苗場山へ向う。しかし出発は40分もおくれる先発の郡司さんと雁ヶ峰へ行く坂井さんと安達さんはもう出発していた。神楽峰にスキーを予備してアセンにはきかえる。ガスと風が出てくる。苗場山とのコルで単独の老人(失礼)も追い抜き快調に登るが、ルートが見つけにくいのと天候の悪化のため、登頂はたんねんする。コルまで下りたところで無酸素単独登頂に成功した郡司さんと合流し神楽峰へ登る。スキーにはきかえて和田小屋へ雪は毎日良くなってくる。カレーハンムdビーフシチュー(豚肉入り)の夕食で疲れた体をあっためてから宴会場に集まる。酒が切れたので、アイスクリームとみかんジュースでカンパイ。

## 雁ヶ峰隊 坂井(L)、安達

神楽峰と同じコースを通って中ノ芝に出る。中ノ芝上部より中尾根にトウパス。清八沢源頭の稜線を懸1塔に向って進む。尾根の西側の林は俺の上

の雪で歩き難い。高石尾根への急登は樹林帯との境もつぼ足で登ったがほとんどむらなかつた。高石尾根の清八沢側は木の少ない急斜面で雪庇が少し出ている。反対側はまばらな木の小沢で視界がきけばよい斜面にしろ。我々は地味をたよりに雁ヶ峰に向った。沢口に古いスキー跡があった。あずかに登って雁ヶ峰に立つ。ここからはスキー場に向う曲った尾根を下る。林もあるが、かなり良い斜面もあった。クラストしたスキー跡を避けたら下り、神楽第一リフトの下でスキー場に出た。 安達(記) [タイム] ティム(7:00) → 高石尾根への分岐(9:00?) → 雁ヶ峰(11:00) → スキー場(11:30)



1月3日

port by 梅原

正月もきょうで最後。ティムを撤収して、ザックを予備し神楽峰へ。北アルプス、谷川、越ヶ岳の360°大パノラマ。空は曇りつつない快晴。雪も最高。みんな新雪にすばらしいジュアールをつけ、和田小屋へ。もっと滑りたいが、重いザックをかたいで山もサヨウ。湯沢温泉で体を清めて満員電車で上野へ。